

入院患者さんからのVRE(バンコマイシン耐性腸球菌)検出と今後の対応について

1. 概要

当院において、ある病棟(A病棟とします)に尿路感染症で入院した患者さんの尿から、薬剤が効きにくい耐性菌のひとつであるバンコマイシン耐性腸球菌(以下、VRE)が検出されました。その後、同じ病棟から他病院に転院した患者さんからもVREが検出されたため、A病棟の入院患者さん全員に検査を行った結果、計10名からVREが検出されました。さらに、3名がA病棟から他院転院後にVREが検出されています。なお、当院入院時に感染が判明した1名を除き、すべて保菌者で発症者はありません。

この結果を受け、病院全体のさらなる感染防止に努めるべく、令和3年10月8日に当院のA病棟を除くすべての病棟の入院患者さん全員203名に一斉に検査を行いました。VREは検出されませんでした。

2. 今後の感染対策

(1) 入院時検査

入院時に全ての患者さんに対してVRE の検査を行い、陽性者を確認し、適切な感染管理を行います。

(2) 入院中検査

VREが検出された病棟の入院患者さん全員を対象とするVRE 検査を定期的に行い、感染状況を監視します。

(3) 職員の感染防止対策の徹底

手指衛生をはじめとする標準予防策を強化するとともに、保菌患者さんに対しては接触感染予防を徹底します。

(4) 職員教育の強化

職員に対して感染防止に係る知識や技術の教育を強化するとともに、職員間の情報の共有化を図ります。

(5) 環境清掃の強化

院内におけるトイレ、ドアノブ、手すり、ベッド柵などの拭き取り清掃では使い捨てのクロスを使用し、清掃回数を増やしています。引き続き、職員及び清掃の委託業者への指導を徹底します。

(6) 抗菌薬適正使用の強化

薬剤耐性菌の出現をできるだけ抑えるために、院内における抗菌薬の適正使用の徹底を図ります。

(7) 外部有識者からの指導・助言

岸和田市保健所、大阪健康安全基盤研究所、大阪市立大学臨床感染学教室等の外部有識者とVREの検出情報をリアルタイムに共有し、対策について指導・助言をいただきます。

3. 最後に

この度は、当院を利用される患者さん、ご家族の皆様にはご迷惑ご心配をおかけいたしました。引き続き、市立岸和田市民病院職員一同、VREの終息に向けて対策の徹底に取り組みます。また、今後も当院職員の説明、院内掲示などにより感染対策についての周知に努めます。今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

* VREとは

人間の腸内には腸球菌という細菌が存在しています。VRE とは、バンコマイシンという抗菌薬に対して薬剤耐性を獲得した腸球菌の一種です。VRE の病原性は非常に弱いので、健康な人が感染しても病気を起こすことはありません。しかし、病気で抵抗力・免疫力が低下している人に感染した場合に感染症を発症することがあるといわれています。

VRE は、接触感染により広がります。VRE に感染している人の便から排出されたVREが保菌者や医療従事者の手から人へ、あるいはベッド柵、トイレ、ドアノブ等の環境を介して広がっていきます。そのため、医療機関においては、この菌の広がりを防ぐ対策が必要となります。

令和3年10月15日
市立岸和田市民病院 院長